

○この章は、「複素数平面」「複素数の極形式と乗法、除法」「ド・モアブルの定理」「複素数と図形」という4つの節から成り立っています。それぞれの節で学んだことや気づいたこと、まだ理解が不十分だと感じることをまとめましょう。

項目	学んだこと・気づいたこと (他の単元との関連) この単元で重要なこと	まだ理解できていないこと
複素数平面	<p>(記載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複素数を座標平面上に対応させるという考え方 ・複素数の実数倍の条件はベクトルの実数倍の条件と似ている 	<ul style="list-style-type: none"> ・問3の証明
複素数の極形式と乗法、除法	<p>【思】 文章の内容</p>	<p>【態】 理解できていない個人の課題を調整しようとしているか</p>
ド・モアブルの定理	<p>「文章の内容」から【思】を評価 B 基準…この単元で学んだこと・気づいたことや重要なことを振り返り記述している A 基準…Bに加え、他の単元との関連についても考え、記述している</p> <p>【態】の評価例として B 基準…理解できた部分とそうでない部分を振り返ることができた A 基準…Bに加え、他の単元との関連について書かれているか、今後取り組んでいくことについて書かれている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元毎に作成し、それぞれの分野を細かく振り返ることができる ・一度作成すれば今後使用可能 	
複素数と図形		

○上記をふまえて、この章を学んでの感想